

神田通信

●今年度から会費が各欄とも、月額五〇〇円上がりました。

A欄：二五〇〇円

B欄：二〇〇〇円

C欄：一五〇〇円

購読：一五〇〇円

D欄（二十歳未満の学生）については月額五〇〇円のまま。

●会費は、半年分、または一年分を前納してください。各欄の半年分の会費は次の通りです。

A欄：一五〇〇〇円

B欄：一二〇〇〇円

C欄：九〇〇〇円

購読：九〇〇〇円

〔地中海社〕

◆近頃、天候不順である。関根和美さんから「腐れ彼岸」という言葉を生まれてはじめて聞いた。ネットで調べたら「盆盆と騒ぐなお盆はただ三日、腐れ彼岸は七日も続く」と。特に春の天候不順、秋の長雨は、体調管

理に苦勞する。

（藤森）

◆足のほうもだいぶ良くなりませんが、まだ十分ではありません。四月になれば今より回復していると思います。早く本社で皆さんに会いたいです。（茂木）
◆「人学式に桜」は定番だが、桜の開花が年々早くなって人学式まで待ってくれない。ランドセルを背負った子ども前撮りを見かける時代となってきた。

（高尾）

◆今日は、とても寒い一日だった。ところで、昨年無料で譲ってもらった中古のホームベーカーリーで焼いたパンがとても美味しいので、パンを焼くことにすっかりはまっています。（木村）
◆三月は期初で私の職場は大忙し。家でも会社のことを考えてしまう中、十二日は編集作業へ。意識が仕事から離れて、元気が出た。

（玉井）

◆吟行を兼ねて湯河原の暮山へ。山また山が梅の花盛り。山道は余分な柵もなく、板切れの道標のみ。自然を極力保つ姿勢にも

満たされました。

（磯田）

◆BS特集で加藤登紀子の「イマジン」の歌と朗読を聴いた。オノ・ヨーコの許諾を得て自ら訳詞したという。八十歳の表現に凄みを感じた。（藤田）
◆もうすぐ春分の日、日足もだんだん長くなって何より気温が上がってきている。二十六度になると上着なしでも凌げるとか。暫時よい季節だ。（成彦）

◆庭に咲いたミモザですと花東を頂いた。その明るい黄を食欲旺盛な小学生の孫はオムライス

の黄だという。花の春。桜もまもなく咲き始める。（楢川）
◆庭の路の藁を摘んで天ぶらにと牡丹餅のお供えを考えていたら雪模様とか。そう言えば六年前の中日も雪だったと手帳を繰くと正解。ちょっと嬉しい気分。

（和美）

◆三月十二日（火）、あいにくの雨でしたが、本社にて今号の編集作業（磯田・関根和美・玉井・久我）。総務部の藤森・大

浪・泉・永塚さんたちも年度末

とあって忙しそうでした。途中、磯田さんの差し入れ（長命寺の桜餅）で一息入れて。

◆作業の終わる頃、新たに印刷した原稿用紙が届き、台車が使えないので皆で運搬作業。本社の一角に積み上げました。価格は据え置き。ご注文ください。
◆五月は創刊月。表紙には考え深げな鳩に登場してもらいました。「地中海」は、創刊より七十二日目に入りました。

◆巻頭二十頁、第一歌集を読む、オリブ集の批評と、田上才恵さんの特集のようになりました。成彦さんとご夫妻で長く地中海を支えてられています。

◆オリブ集は新メンバー。比較的若い方から百歳に近い方まで。ご健詠ください。（久我）

● 本社編集日（予定） ●

5月14日（火）

6月12日（水）

7月12日（金）

8月16日（金）

クリップ

■入会届・退会届について

葉書に、①氏名(ふりがな)

②住所 ③電話番号 ④生年月

日 ⑤性別 ⑥送本開始(停止)

月を記入の上、本社に提出して

ください。退会届の場合は、①

②⑥の記入をお願いします。急

な送本停止には対応しきれませ

るので、ご了承ください。

■会費納入について

会費は、半年分、または一年

分を前納してください。

各欄の月額は次の通りです。

・A欄 二五〇〇円

・B欄 二〇〇〇円

・C欄 一五〇〇円

・購読 一五〇〇円

二十歳未満の学生は五〇〇円

です。(若い人たちは是非ご勸

誘ください)

00160・4・179569 地中海社

振替用紙の連絡欄に内訳をお

書きください。支社・グループ
でまとめて納入していただける
と幸いです。

■原稿用紙のご注文について

一冊一五〇円。それに送料が

かかりますので、まとめてのご

注文がお勧めです。本社までご

連絡ください。こちらから発送

する際に振込用紙を同封いたし

ますので、代金はそれを使って

振り込んでください。

■本誌の追加注文について

本社に葉書にてご連絡くださ

い。代金は一冊一二〇〇円。た

だし、七〇周年記念号について

は、一冊二〇〇〇円です。会費

と同じ「地中海社」の口座にお

願います。

■見本誌について

勧誘用に見本誌をお求めにな

る場合は、送料のみご負担いた

できます。二冊までなら二〇〇

円分の切手を同封してお申し込

みください。

■歌集を出版する際には

地中海叢書番号をご請求くだ

さい。葉書に住所氏名の他に、
①歌集名(未定の場合には仮題
でも) ②発行時期 ③版元を記
入して本社宛に。折り返し、登
録した叢書番号と事務手続きの
文書をお送りいたします。

■出版後には本社保管用に一冊

お送りください。

■九曜書林は、比較的安価な歌

集出版を考えていて、自分では

どうしていいか分からず困って

いる方のために立ち上げました。

印刷・製本は、本誌の印刷をし

ている京成社にお願いしていま

す。予算に応じた出版が可能です。

まずは、編集部にご相談く

ださい。

■本社への連絡について

葉書か封書でお願いします。

電話はありますが、常駐する者

がおりませんので、誰かが本社

で作業している時にしか通じま

せん。急を要する場合には、

藤森：TEL 090-8301-6423

・久我：TEL & FAX 043-241-7925

までご連絡ください。

■本誌の発送について
毎月、藤森巴行が宛名シール
を作成し、印刷所から発送して
もらっています。万が一、届か
なかった場合には、担当の藤森
までご連絡ください。

実務委員会

5月22日(水) 13時

本社にて。

同日11時、編集会議もおこ

なう予定です。

